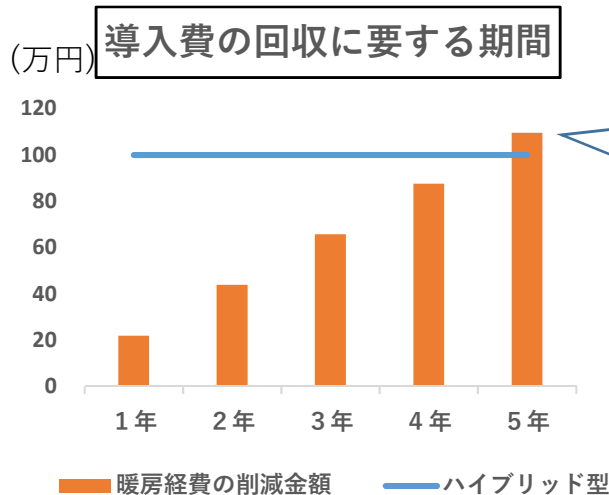
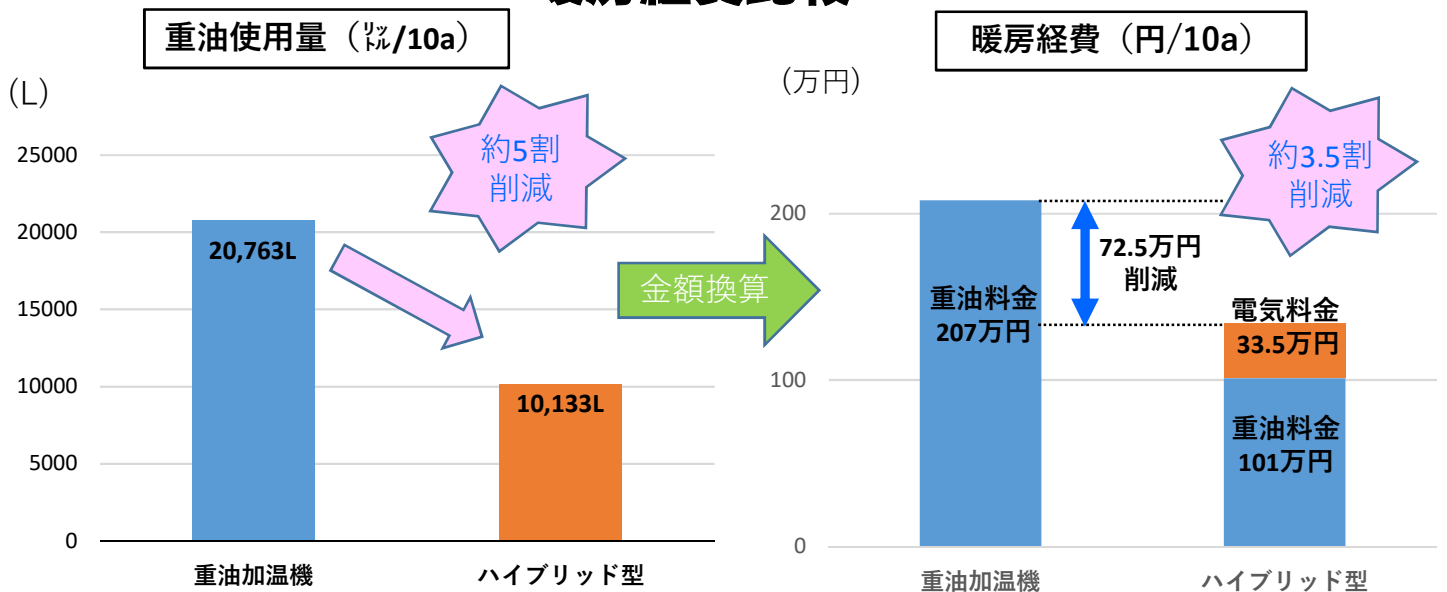


施設園芸の燃油高騰対策

ヒートポンプで燃料経費の削減

厳寒期には燃油暖房機を運転し、それ以外はエネルギー効率の良いヒートポンプを優先するハイブリッド運転により、燃油使用料を削減できます。生育に適した施設内温度を保つことにより営農にも支障が生じません。

★重油加温機とヒートポンプ（ハイブリッド型）の暖房経費比較



ポイント

今回の産地生産基盤パワーアップ事業を活用すると、半額補助となるので約2.3年で回収。

※注：設置費の回収に要する期間は、下記の研究成果を基に試算したものであり、導入する環境、燃油価格・電気料金等の変動により実際の回収の期間は変わることがあります。

★H30年佐賀県研究成果情報（ハウスミカン）を基に試算。硬質フィルムで被覆した屋根型鉄骨ハウス（単棟3a）、重油加温機（7.5万Kcal）と一体送風型ヒートポンプ（3.44kw）を用いた複合運転を行った。加温期間は12月27日～3月14日（設定18℃）、～4月8日（設定20℃）、～5月23日（設定24℃）。重油単価は100円/L、電気料金は九州電力定圧季特別電力プランにより算出（基本料金含む）。

令和3年度補正予算 産地生産基盤パワーアップ事業 「施設園芸エネルギー転換枠」新設

燃油高騰に対応するため、施設園芸の省エネ化を進める制度が創設されました。

この制度は、地球温暖化の要因であるCo2削減にも貢献します。

事業実施の内容

★ 化石燃料を使用している加温設備（重油ボイラー等）を既に有するパイプハウス等が対象です。

〔低コスト耐候性ハウス等への導入は、従来の産地生産基盤パワーアップ事業の整備事業又は強い農業づくり総合支援交付金をご活用して下さい。〕

★ 令和4年度中に設置するものについては、ヒートポンプ等の設置費用も補助対象！

★ 補助率は1/2

対象機器

★ 化石燃料を使用しない加温機(ヒートポンプ、木質バイオマスボイラー等)等の省エネ機器

★ 省エネ機器と合わせて導入する内部設備(循環扇、多段式サーモ、内張カーテン等)

要望調査

★ 下記の日程で要望調査を行いますので、ご相談のある方は、お近くの市町村、JA、各県の施設園芸担当部局、九州農政局各県拠点、九州農政局生産部園芸特産課までご相談ください。

第1回目 要望調査	～3月18日 締切(済)
第2回目	～4月28日 締切(済)
第3回目	～5月31日 締切(済)
第4回目	～6月30日 締切
第5回目	～7月29日 締切
第6回目	～8月31日 締切



ヒートポンプ

(九州農政局生産部園芸特産課の連絡先)
農政調整官(野菜経営)、施設園芸支援係
096-211-9111 (内4469、4473)